

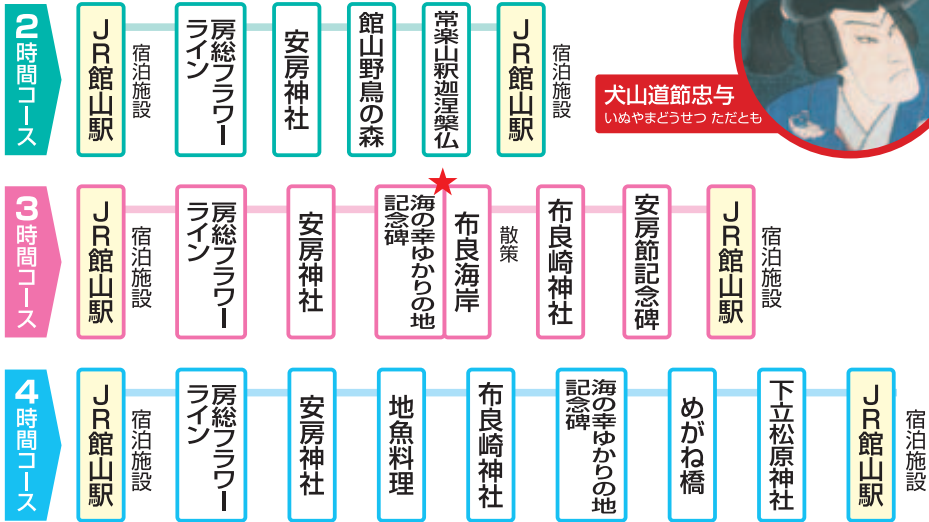
忠

神話の里コース (小さな漁村に伝えられる神話の里の旅)

オススメの地魚料理も満喫できる、海風を浴びながらの静かなまち探索。郷土の息づく文化や歴史、今に受け継ぐ古の史跡に出逢えます。館山駅から安房神社までは、フラワーラインを通過して車でおよそ30分。



犬山道節忠与
いぬやまどうせつ たたとも



安房神社 (あわじんじや)

この地は古代、安房国を築いた地とされています。安房一の宮で、祭神は安房開拓神とされる天太玉命。明治時代に建てられた社殿は老樹に囲まれて風格たっぷり。また、社殿の北側には弥生時代の住居遺跡とされる海食洞穴

もあります。本殿の裏手は桜の名所としても知られています。

海の幸ゆかりの地記念碑

福岡県に生まれ29才で没した明治画壇の鬼才といわれた洋画家青木繁は、画友らと福田たねを伴って布良海岸を訪れ、代表作「海の幸」を描いています。海を題材とした優れた多くの作品を記念した碑が布良海岸のやや小高い所に建立されています。



布良崎神社 (めらさきじんじや)

富崎地区の布良崎神社は、最初に安房へ来た天富命(あめのとみのみこと)をまつています。布良の岬に天富命が上陸したという神話が、富崎の地名のおこりです。



安房節記念碑 (あわぶしきねんひ)

安房節は漁に出る男達の士気を鼓舞するため船頭が歌い、櫓取りがはやしていたと伝えられる歌です。「マグロはえ縄漁」は危険が多く、多くの人が速くの海で亡くなっています。その事実が後生に伝わるように願いが込められている碑がここにあります。

めがね橋

国道410号からちょっと入ったところに、3つのアーチが弧を描く「めがね橋」があります。明治21年に完成以来、珍しい石積み工法の橋は町で暮らす人々を見つめてきました。趣たっぷりの、日本の名橋百選です。館山から山間部を走ると、これが白浜への目印になります。



下立松原神社 (しもだてまつばらじんじや)

平安時代に編纂された「古語拾遺」にもその名を残す古社で、創建は神武天皇元年と伝えられています。源頼朝や里見義実など武将の崇敬篤く、徳川氏からも朱印地を受けています。